

平成 30 年度 鹿児島大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

理・工・医・歯・農・水産・共同獣医・教育学部

平成 30 年 2 月 25 日

- 理 [数理・物理・地環]・工・医 [医]・歯学部は, [1], [2] 必答, [3] ~ [5] から 1 問選択, [6], [7] 必答. 数 II・III・A・B(120 分)
- 理 [生命化]・農・水産・共同獣医学部は, [1], [2] 必答, [3] ~ [5] から 1 問選択. 数 II・A・B(90 分)
- 教育 [数学・理科・技術・教育・心理・家政・国語・社会・英語・特別支援教育・健康教育] 学部は, [1] 必答, [3] ~ [5] から 1 問選択, [2], [8] の 2 題から 1 問選択. 数 II・A・B または 数 III・A・B(90 分)

1 次の各問いに答えよ.

- (1)  $AB = 2$ ,  $BC = 1$ ,  $CA = \sqrt{3}$  のとき, 三角形 ABC の内接円の半径  $r$  を求めよ.
- (2)  $\sin^2 x - \sin^2 y = \sin(x+y)\sin(x-y)$  を示せ.
- (3)  $p$  を素数とすると,  $1 \leq k \leq p-1$  を満たす自然数  $k$  に対して, 二項係数  ${}_p C_k$  は  $p$  の倍数であることを示せ.

2 曲線  $y = x^2$  と直線  $y = 4$  の交点を A, B とする. 点 P が曲線  $y = x^2$  上を  $-2 < x < 2$  の範囲で動くとする. このとき, 次の各問いに答えよ.

- (1) 三角形 ABP の重心 G の軌跡を求めよ.
- (2) (1) で求めた軌跡と直線  $y = 4$  で囲まれた部分の面積を求めよ.

3 数列  $\{a_n\}$  が自然数  $n = 1, 2, \dots$  に対して関係式

$$a_{n+2} - 5a_{n+1} + 6a_n = 0 \quad \dots (*)$$

を満たすとき、「数列  $\{a_n\}$  は漸化式  $(*)$  を満たす」という。このとき、次の各問に答えよ。

- (1) 初項と公比がともに  $r (\neq 0)$  である等比数列で漸化式  $(*)$  を満たす数列  $\{b_n\}$ ,  $\{c_n\}$  の一般項をそれぞれ求めよ。ただし,  $b_1 > c_1$  とする。
- (2) 二つの数列  $\{d_n\}$ ,  $\{e_n\}$  がともに漸化式  $(*)$  を満たすとき, 二つの実数  $k$ ,  $l$  に対して  $f_n = kd_n + le_n$  で定められる数列  $\{f_n\}$  も漸化式  $(*)$  を満たすことを示せ。
- (3) (1) で得られた数列  $\{b_n\}$ ,  $\{c_n\}$  と二つの実数  $k, l$  に対して,  $a_n = kb_n + lc_n$  とおくと  $a_1 = 21$ ,  $a_2 = 57$  を満たす数列  $\{a_n\}$  の一般項を求めよ。

4 三角形 ABC とその内部の点 O があり, 正の実数  $k, l$  に対して

$$\overrightarrow{OA} + k\overrightarrow{OB} + l\overrightarrow{OC} = \vec{0}$$

を満たしていると仮定する。さらに直線 OA と辺 BC, 直線 OB と辺 CA, 直線 OC と辺 AB の交点をそれぞれ D, E, F とする。このとき, 次の各問に答えよ。

- (1)  $\overrightarrow{OD} = x\overrightarrow{OA}$  とおくと  $x$  を  $k, l$  を用いて表せ。さらに  $\frac{OD}{AD}$  を  $k, l$  を用いて表せ。
- (2)  $\overrightarrow{OE} = y\overrightarrow{OB}$  とおくと  $y$  を  $k, l$  を用いて表せ。さらに  $\frac{OE}{BE}$  を  $k, l$  を用いて表せ。
- (3)  $\frac{OD}{AD} + \frac{OE}{BE} + \frac{OF}{CF} = 1$  を示せ。

5 1 個のサイコロを投げ, 1 の目が出るまでこれを繰り返し行う。ただし, このサイコロ投げを繰り返す最大の回数は  $N$  回とし ( $N \geq 2$ ),  $N$  回まで繰り返して 1 の目が出なければ, 終了する。このサイコロ投げにおける繰り返し回数を  $X$  とする。このとき, 次の各問に答えよ。

- (1) 確率  $P(X = k)$  を,  $k < N$  と  $k = N$  の場合に分けて求めよ。
- (2)  $X$  の期待値を求めよ。

- 6 関数  $f(x) = \frac{\log(x+1)}{x+1}$  について、次の各問いに答えよ。ただし、 $x \geq 0$  とする。また、 $\log(x+1)$  は  $x+1$  の自然対数を表す。

(1) 自然対数の底  $e$  に対して、 $t \geq 0$  のとき  $e^t > \frac{t^2}{2}$  が成立することを用いて

$$\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log(x+1)}{x+1} = 0$$

を示せ。

- (2)  $f(x)$  の増減、極値、グラフの凹凸および変曲点を調べて、そのグラフをかけ。
- (3) 自然数  $n = 1, 2, \dots$  に対して正の数  $a_n$  を、曲線  $y = f(x)$  と直線  $x = a_n$  および  $x$  軸で囲まれた部分の面積が  $n^2$  に等しくなるように定める。この  $a_n$  を求めよ。
- (4) (3) で定まる数列  $\{a_n\}$  に対して、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_{n+1}}{a_n}$  を求めよ。

- 7 複素数平面上の点  $z$  が  $|4 - 3i - iz| = 2$  を満たすとする。このとき、次の各問いに答えよ。ただし、 $i$  は虚数単位とする。

- (1) 点  $z$  の全体が表す図形を求めよ。
- (2)  $|z|$  の最大値と最小値を求めよ。
- (3)  $w = \frac{1}{z+1+4i}$  とする。点  $w$  の全体が表す図形を求めよ。さらに、 $|w|$  の最小値を与える  $w$  を求めよ。ただし、 $z \neq -1 - 4i$  とする。

- 8 平面上で二つの曲線  $y = \sin x$  と  $y = \cos 2x$  を考える。このとき、次の各問いに答えよ。

- (1)  $0 \leq x \leq \frac{\pi}{2}$  の範囲で  $y = \sin x$  と  $y = \cos 2x$  の共有点を求めよ。
- (2) 二つの曲線  $y = \sin x$ 、 $y = \cos 2x$  と二つの直線  $x = 0$ 、 $x = \frac{\pi}{2}$  で囲まれる部分の面積を求めよ。

# 正解

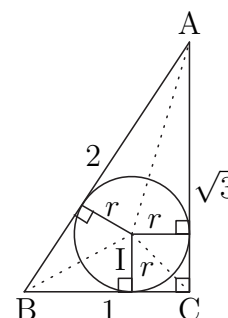
- 1 (1)  $\triangle ABC$  の内心を  $I$  とすると

$$\triangle IBC + \triangle ICA + \triangle IAB = \triangle ABC$$

$$\frac{1}{2} \cdot 1r + \frac{1}{2} \cdot \sqrt{3}r + \frac{1}{2} \cdot 2r = \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot \sqrt{3}$$

$$(1 + \sqrt{3} + 2)r = \sqrt{3}$$

よって 
$$r = \frac{\sqrt{3}}{3 + \sqrt{3}} = \frac{\sqrt{3} - 1}{2}$$



$$\begin{aligned} (2) \quad \sin(x+y)\sin(x-y) &= (\sin x \cos y + \cos x \sin y)(\sin x \cos y - \cos x \sin y) \\ &= \sin^2 x \cos^2 y - \cos^2 x \sin^2 y \\ &= \sin^2 x (1 - \sin^2 y) - (1 - \sin^2 x) \sin^2 y \\ &= \sin^2 x - \sin^2 y \end{aligned}$$

別解 
$$\begin{aligned} \sin^2 x - \sin^2 y &= (\sin x + \sin y)(\sin x - \sin y) \\ &= 2 \sin \frac{x+y}{2} \cos \frac{x-y}{2} \cdot 2 \cos \frac{x+y}{2} \sin \frac{x-y}{2} \\ &= 2 \sin \frac{x+y}{2} \cos \frac{x+y}{2} \cdot 2 \sin \frac{x-y}{2} \cos \frac{x-y}{2} \\ &= \sin(x+y) \sin(x-y) \end{aligned}$$

$$(3) \quad {}_p C_k = \frac{p!}{k!(p-k)!} = \frac{p}{k} \cdot \frac{(p-1)!}{(k-1)!(p-k)!} = \frac{p}{k} \times {}_{p-1} C_{k-1}$$

素数  $p$  は整数  $k$  ( $1 \leq k \leq p-1$ ) で割り切れない.

よって,  ${}_p C_k$  は  $p$  の倍数である.

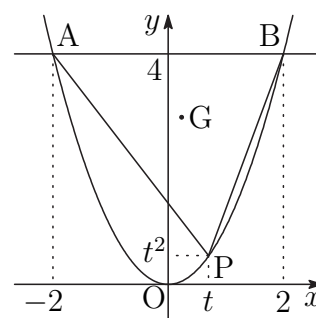
- 2 (1)  $A(-2, 4)$ ,  $B(2, 4)$ ,  $P(t, t^2)$ ,  $G(x, y)$  とおく.  
 $G$  は三角形  $ABP$  の重心であるから

$$x = \frac{-2 + 2 + t}{3}, \quad y = \frac{4 + 4 + t^2}{3}$$

ゆえに  $t = 3x$ ,  $t^2 = 3y - 8$ , ( $-2 < t < 2$ )

上の 2 式から  $t$  を消去すると

$$y = 3x^2 + \frac{8}{3} \quad \left( -\frac{2}{3} < x < \frac{2}{3} \right)$$

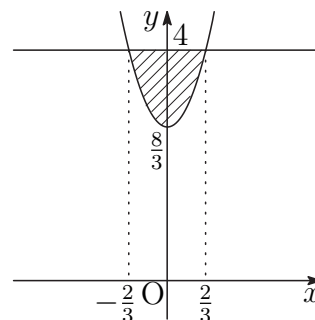


(2) (1) の軌跡と直線  $y = 4$  の交点の  $x$  座標は

$$3x^2 + \frac{8}{3} = 4 \quad \text{これを解いて} \quad x = \pm \frac{2}{3}$$

右の図から求める面積を  $S$  とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_{-\frac{2}{3}}^{\frac{2}{3}} \left\{ 4 - \left( 3x^2 + \frac{8}{3} \right) \right\} dx \\ &= -3 \int_{-\frac{2}{3}}^{\frac{2}{3}} \left( x + \frac{2}{3} \right) \left( x - \frac{2}{3} \right) dx \\ &= \frac{3}{6} \left( \frac{2}{3} + \frac{2}{3} \right)^3 = \frac{32}{27} \end{aligned}$$



**3** (1) 初項と公比がともに  $r (\neq 0)$  である等比数列の一般項は  $r^n$

これを (\*) に代入すると

$$r^{n+2} - 5r^{n+1} + 6r^n = 0 \quad \text{ゆえに} \quad r^2 - 5r + 6 = 0$$

したがって  $r = 2, 3$  よって  $b_n = 3^n, c_n = 2^n$

(2) 漸化式 (\*) を満たす数列  $\{d_n\}, \{e_n\}$  によって, 数列  $\{f_n\}$  が関係式

$$f_n = kd_n + le_n$$

で定められるから ( $k, l$  は定数)

$$\begin{aligned} f_{n+2} - 5f_{n+1} + 6f_n &= (kd_{n+2} + le_{n+2}) - 5(kd_{n+1} + le_{n+1}) + 6(kd_n + le_n) \\ &= k(d_{n+2} - 5d_{n+1} + 6d_n) + l(e_{n+2} - 5e_{n+1} + 6e_n) \\ &= k \cdot 0 + l \cdot 0 = 0 \end{aligned}$$

よって,  $\{f_n\}$  も漸化式 (\*) を満たす.

(3) (1) の結果から  $a_n = k \cdot 3^n + l \cdot 2^n$

$a_1 = 21, a_2 = 57$  であるから

$$\begin{cases} 3k + 2l = 21 \\ 9k + 4l = 57 \end{cases} \quad \text{これを解いて} \quad k = 5, l = 3$$

よって, 求める一般項は  $a_n = 5 \cdot 3^n + 3 \cdot 2^n$

4 (1)  $\vec{OA} + k\vec{OB} + l\vec{OC} = \vec{0} \quad \dots (*)$

(\*) より  $\frac{k\vec{OB} + l\vec{OC}}{l+k} = -\frac{1}{k+l}\vec{OA}$

ゆえに  $\vec{OD} = -\frac{1}{k+l}\vec{OA} \quad \dots \textcircled{1}$

よって  $x = -\frac{1}{k+l}$

\textcircled{1} より  $\vec{OD} = -\frac{1}{k+l}(\vec{OD} + \vec{DA})$     ゆえに  $(k+l+1)\vec{OD} = \vec{AD}$

よって  $\frac{OD}{AD} = \frac{1}{k+l+1}$

(2) (\*) より  $\frac{l\vec{OC} + \vec{OA}}{1+l} = -\frac{k}{l+1}\vec{OB}$     ゆえに  $\vec{OE} = -\frac{k}{l+1}\vec{OB} \quad \dots \textcircled{2}$

よって  $y = -\frac{k}{l+1}$

\textcircled{2} より  $\vec{OE} = -\frac{k}{l+1}(\vec{OE} + \vec{EB})$     ゆえに  $(k+l+1)\vec{OE} = k\vec{BE}$

よって  $\frac{OE}{BE} = \frac{k}{k+l+1}$

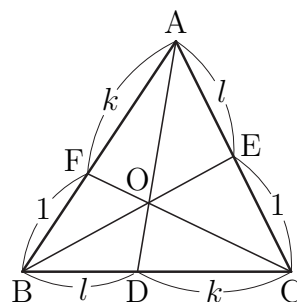
(3) (\*) より  $\frac{\vec{OA} + k\vec{OB}}{k+1} = -\frac{l}{k+1}\vec{OC}$     ゆえに  $\vec{OF} = -\frac{l}{k+1}\vec{OC} \quad \dots \textcircled{3}$

\textcircled{3} より  $\vec{OF} = -\frac{l}{k+1}(\vec{OF} + \vec{FC})$     ゆえに  $(k+l+1)\vec{OF} = l\vec{CF}$

よって  $\frac{OF}{CF} = \frac{l}{k+l+1}$

したがって、上式および(1), (2)の結果から

$$\frac{OD}{AD} + \frac{OE}{BE} + \frac{OF}{CF} = \frac{1}{k+l+1} + \frac{k}{k+l+1} + \frac{l}{k+l+1} = 1$$



- 5 (1) (i)  $1 < k < N$  のとき,  $k-1$  回まで 1 以外の目,  $k$  回目に 1 の目が出る確率であるから

$$P(X = k) = \left(\frac{5}{6}\right)^{k-1} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{6} \left(\frac{5}{6}\right)^{k-1}$$

1 回目に 1 の目が出る確率は  $\frac{1}{6}$  であるから,  $k=1$  のときも成立する.

$$\text{よって, } k < N \text{ のとき } P(X = k) = \frac{1}{6} \left(\frac{5}{6}\right)^{k-1}$$

- (ii)  $k = N$  のとき,  $N-1$  回目まで 1 以外の目が出る確率であるから

$$P(X = N) = \left(\frac{5}{6}\right)^{N-1}$$

- (2)  $r = \frac{5}{6}$  とし, 求める期待値を  $E(X)$  とおくと

$$\begin{aligned} E(X) &= \sum_{k=1}^{N-1} k \cdot P(X = k) + N \cdot P(X = N) \\ &= \sum_{k=1}^{N-1} k \cdot \frac{1}{6} \left(\frac{5}{6}\right)^{k-1} + N \left(\frac{5}{6}\right)^{N-1} \\ &= \frac{1}{6} \sum_{k=1}^N k \left(\frac{5}{6}\right)^{k-1} + N \left(\frac{5}{6}\right)^N = \frac{1}{6} \sum_{k=1}^N k r^{k-1} + N r^N \end{aligned}$$

$$\text{ここで, } S = \sum_{k=1}^N k r^{k-1} \text{ とおくと } E(X) = \frac{1}{6} S + N r^N \quad \dots (*)$$

$$\begin{aligned} S - rS &= \sum_{k=1}^N k r^{k-1} - \sum_{k=1}^N k r^k = \sum_{k=1}^N k r^{k-1} - \sum_{k=2}^{N+1} (k-1) r^{k-1} \\ (1-r)S &= \sum_{k=1}^N r^{k-1} - N r^N = \frac{1-r^N}{1-r} - N r^N \\ \frac{1}{6}S &= 6(1-r^N) - N r^N \end{aligned}$$

$$\text{これを } (*) \text{ に代入すると } E(X) = 6(1-r^N) = 6 \left\{ 1 - \left(\frac{5}{6}\right)^N \right\}$$

6 (1)  $t > 0$  のとき,  $e^t > \frac{t^2}{2}$  であるから  $0 < \frac{t}{e^t} < \frac{2}{t}$

$t = \log(x+1)$  とおくと ( $x > 0$ ),  $t > 0$  であるから, 上式により

$$0 < \frac{\log(x+1)}{x+1} < \frac{2}{\log(x+1)}$$

$\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{2}{\log(x+1)} = 0$  であるから, はさみうちの原理により

$$\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{\log(x+1)}{x+1} = 0$$

(2)  $f(x) = \frac{\log(x+1)}{x+1}$  より

$$f'(x) = \frac{\frac{1}{x+1} \cdot (x+1) - \log(x+1) \cdot 1}{(x+1)^2} = \frac{1 - \log(x+1)}{(x+1)^2}$$

$$\begin{aligned} f''(x) &= \frac{-\frac{1}{x+1} \cdot (x+1)^2 - \{1 - \log(x+1)\} \cdot 2(x+1)}{(x+1)^4} \\ &= \frac{-1 - 2\{1 - \log(x+1)\}}{(x+1)^3} = \frac{2\log(x+1) - 3}{(x+1)^3} \end{aligned}$$

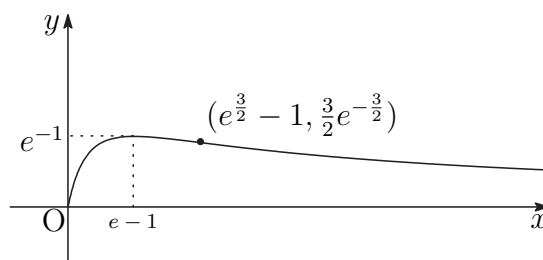
したがって,  $f(x)$  の増減および凹凸は次のようになる.

$x$	0	...	$e-1$	...	$e^{\frac{3}{2}}-1$	...
$f'(x)$		+	0	-	-	-
$f''(x)$		-	-	-	0	+
$f(x)$	0	$\nearrow$	$e^{-1}$	$\searrow$	$\frac{3}{2}e^{-\frac{3}{2}}$	$\searrow$

また, (1) の結果から  $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = 0$

よって 極大値  $f(e-1) = e^{-1}$ , 変曲点  $\left(e^{\frac{3}{2}}-1, \frac{3}{2}e^{-\frac{3}{2}}\right)$

グラフの概形は, 下の図のようになる.





(3) 曲線  $y = f(x)$  と直線  $x = a_n$  および  $x$  軸で囲まれた部分の面積は

$$\int_0^{a_n} \frac{\log(x+1)}{x+1} dx = \frac{1}{2} \left[ \{\log(x+1)\}^2 \right]_0^{a_n} = \frac{1}{2} \{\log(a_n+1)\}^2$$

この面積が  $n^2$  であるから ( $a_n > 0$ )

$$\frac{1}{2} \{\log(a_n+1)\}^2 = n^2 \quad \text{これを解いて} \quad a_n = e^{\sqrt{2}n} - 1$$

(4) (3) の結果を利用して

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{a_{n+1}}{a_n} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{e^{\sqrt{2}(n+1)} - 1}{e^{\sqrt{2}n} - 1} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{e^{\sqrt{2}} - e^{-\sqrt{2}n}}{1 - e^{-\sqrt{2}n}} = e^{\sqrt{2}}$$

**7** (1)  $|4 - 3i - iz| = 2$  より

$$|i||4 - 3i - iz| = 2 \quad \text{ゆえに} \quad |z + 3 + 4i| = 2 \quad \cdots (*)$$

よって、点  $z$  の表す図形は 中心  $-3 - 4i$  , 半径 2 の円

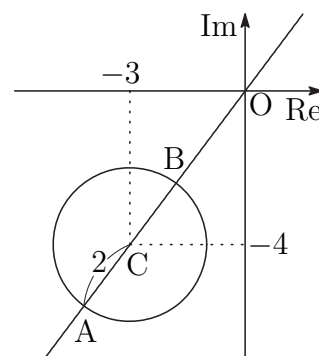
(2) (1) で求めた円の中心を  $C$  とし、右の図のように直線  $OC$  と円の交点を  $A, B$  とすると

$$OC = |-3 - 4i| = \sqrt{(-3)^2 + (-4)^2} = 5$$

円の半径は 2 であるから

$$|z| \text{ の最大値は } OA = OC + 2 = 7$$

$$|z| \text{ の最小値は } OB = OC - 2 = 3$$



(3)  $z \neq -1 - 4i$  より,  $w = \frac{1}{z+1+4i}$  ( $\neq 0$ ) であるから

$$z = \frac{1}{w} - 1 - 4i$$

これを (\*) に代入すると

$$\left| \frac{1}{w} + 2 \right| = 2 \quad \text{ゆえに} \quad |2w + 1| = 2|w| \quad \text{すなわち} \quad |w| = \left| w + \frac{1}{2} \right|$$

よって、 $w$  は 2 点  $0, -\frac{1}{2}$  を結ぶ垂直二等分線、すなわち、 $w = -\frac{1}{4}$

また、 $|w|$  は点  $-\frac{1}{4}$  で最小値  $\frac{1}{4}$  をとる。

## 解説 1 次分数変換 (メビウス変換)

$$w = \frac{1}{z + 1 + 4i}$$

は、まず、点  $z$  を  $-1 - 4i$  だけ平行移動し、さらに反転  $\frac{1}{z}$  を行っている。  
 このとき、平行移動後の円  $|z + 2| = 2$  は原点を通るため、反転を行うと直線に変換される。逆に、直線は反転により円に変換される。

本題の直線  $w = -\frac{1}{4}$  上の点

$$w = -\frac{1}{4}(1 + i \tan \theta) \quad \left(-\frac{\pi}{2} < \theta < \frac{\pi}{2}\right)$$

を反転させると

$$\begin{aligned} \frac{1}{w} &= -\frac{4}{1 + i \tan \theta} = -\frac{4 \cos \theta}{\cos \theta + i \sin \theta} = -4 \cos \theta (\cos \theta - i \sin \theta) \\ &= -2(2 \cos^2 \theta - 2i \sin \theta \cos \theta) = -2(\cos 2\theta + 1 - i \sin 2\theta) \\ &= -2 - 2(\cos 2\theta - i \sin 2\theta) \\ &= -2 + 2\{\cos(\pi - 2\theta) + i \sin(\pi - 2\theta)\} \quad \left(-\frac{\pi}{2} < \theta < \frac{\pi}{2}\right) \end{aligned}$$

これは、点  $-2$  を中心とする半径  $2$  の円を表す。

なお、原点を通らない円  $|z - a| = r$  は、反転により円に変換される。

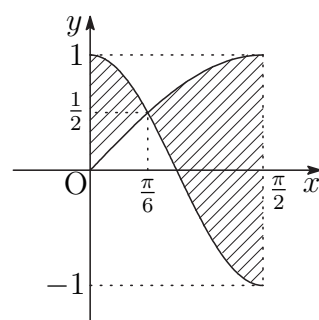
- 8 (1)  $y = \sin x$  と  $y = \cos 2x$  から、 $y$  を消去すると

$$\sin x = \cos 2x \quad \text{ゆえに} \quad \sin x = 1 - 2 \sin^2 x$$

$$\text{したがって} \quad (\sin x + 1)(2 \sin x - 1) = 0$$

$$0 \leq x \leq \frac{\pi}{2} \text{ に注意して、これを解くと} \quad x = \frac{\pi}{6}$$

$$\text{よって、求める交点の座標は} \quad \left(\frac{\pi}{6}, \frac{1}{2}\right)$$



- (2) 求める面積を  $S$  とすると

$$\begin{aligned} S &= \int_0^{\frac{\pi}{6}} (\cos 2x - \sin x) dx + \int_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} (\sin x - \cos 2x) dx \\ &= \left[ \frac{1}{2} \sin 2x + \cos x \right]_0^{\frac{\pi}{6}} + \left[ -\cos x - \frac{1}{2} \sin 2x \right]_{\frac{\pi}{6}}^{\frac{\pi}{2}} = \frac{3}{2} \sqrt{3} - 1 \end{aligned}$$